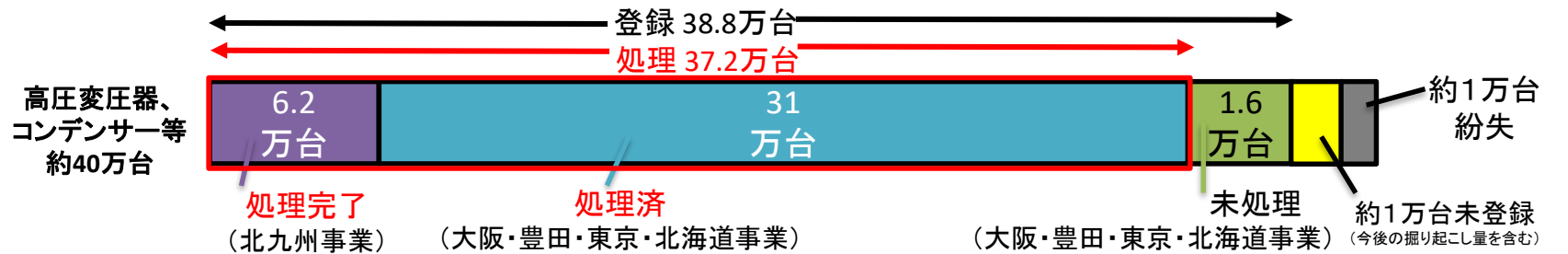


# 北海道事業エリアの処理の見通しについて

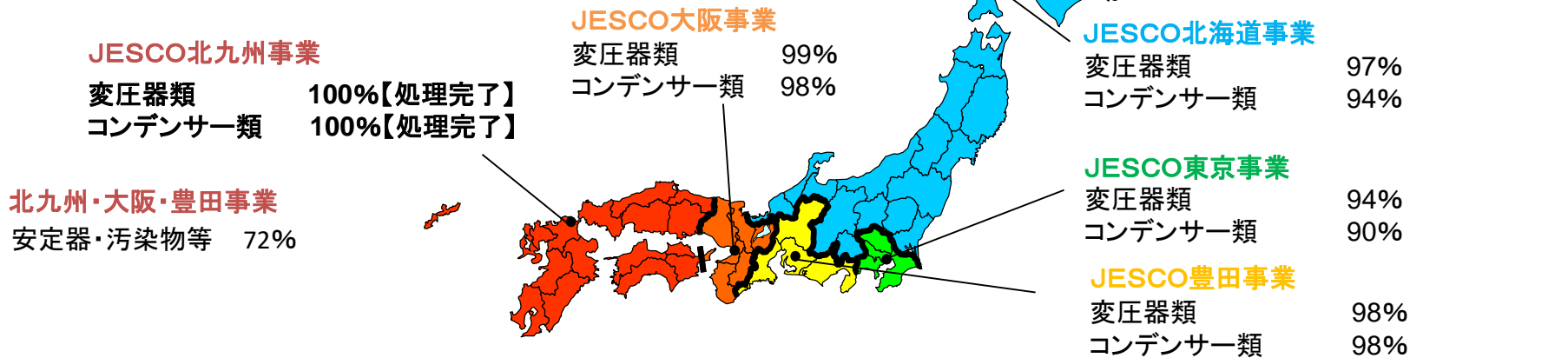
環境省環境再生・資源循環局  
ポリ塩化ビフェニル廃棄物処理推進室

# 各事業地域における高濃度PCB廃棄物の処理の進捗状況

- JESCOには、令和3年3月末(速報値)時点で、変圧器 約1.62万台、コンデンサー 約37.2万台の計約38.8万台が、処理対象として登録等されており、このうち変圧器 約1.58万台、コンデンサー 約35.6万台の計約37.2万台を処理した。  
登録台数に対する処理の進捗率(全国平均)は、変圧器約97%、コンデンサー約96%である。
- 安定器・汚染物等については、約2.1万トンが登録等されており、このうち約1.5万トン进行处理した。  
処理の進捗率(全国平均)は約71%である。



令和3年3月末(速報値)時点の  
処理の進捗率



## 北海道・東京事業エリア内の処理対象量の推計

- 北九州・大阪・豊田事業エリアの実績を踏まえると、これまで計上していなかったPCB特措法に基づき届出されているがJESCO未登録の量や、掘り起こし調査等による発見の見込み量を推計し、処理対象量に追加し、処理の見通しを立てることが重要。
- 令和3年3月末時点の掘り起こし調査結果等を活用して、今後の見込み量を試算。

	処理済み量	未処理量	PCB特措法 届け出済み 未登録量	今後の 掘り起こし量 (推計)	合計
変圧器・コンデンサー(台)	67,308	4,423	1,002	1,063	73,796
安定器・汚染物(トン)	7,046	3,190	670	800	11,706

### 令和3年度以降の処理対象量(推計)

- 注1: JESCO北海道事業所では北海道事業エリアの変圧器・コンデンサー等、北海道及び東京事業エリアの安定器・汚染物等の処理を実施。
- 注2: PCB特措法届け出済み未登録量は令和2年度末時点のPCB特措法届け出情報及び電気事業法届け出情報と、JESCO登録済み情報を突合して算出。
- 注3: 今後の掘り起こし量は、令和3年3月末時点の北海道・東京事業エリアの掘り起こし調査結果を活用して、都道縣市毎の発見率や発見台数、未調査数から今後の掘り起こし量を推計。

今後の処理見込み量が増加しているため、計画的処理完了期限内での処分は厳しい状況にあるが、安定器の分離処理装置の積極的な活用など、処理完了に向けあらゆる処理促進策を実施・検討していく。